

2020 東京オリンピック男女日本代表候補選手選考基準

(卓球競技：2020 年 7 月 25 日～8 月 7 日 東京体育館)

1. シングルス代表候補選手 2 名

2020 年 1 月発表の世界ランキング日本人上位 2 名を JOC に推薦する。

※上位 1 位の世界ランキングポイントが 3 名以上、若しくは 2 位の選手が 2 名以上重複した場合は、以下の順序で上位を決定する。

(1) ワールドツアー等の優勝回数を評価(○内の数字は優先順位)

※2019 年 1 月 1 日～12 月 31 日までの期間を評価

※①世界選手権 ②ワールドカップ ③ワールドツアーグランドファイナル

④ワールドツアープラチナ 6 大会

(2) 世界ランキング 30 位以内(日本人選手、同一選手含む)に勝利した回数

(3) 該当する選手間で最終決定戦を行う。(詳細は後日決定)

2. 団体戦代表候補選手 1 名

上記 1. の代表候補選手とダブルスが組め、団体戦でシングルス及びダブルスにて活躍が期待できる選手 1 名を、強化本部が決定し理事会に報告及び JOC に推薦する。

3. 混合ダブルス代表候補選手男女各 1 名

上記 1. 2. 代表候補男女各 3 名の選手の中で、最高のペアリングと思われる混合ダブルスペア 1 組を、強化本部が決定し理事会に報告及び JOC に推薦する。

なお、日本は開催地枠として全種目のエントリーが保障されており、予選で出場資格を獲得する必要がない。従って、混合ダブルスベスト 4 に代表資格が発生する予定である 2019 年 12 月 ITTF ワールドツアーグランドファイナルについては、混合ダブルスの代表候補選手選出の対象大会としない。

※ベスト 4 に入ったペアは、所属 NF ならびに所属 NOC が承認するまで代表ではなく、所属 NF と所属 NOC に最終的な決定権があることは ITTF と確認済みである。

4. リザーブ候補選手 1 名

日本がメダルを獲得するために必要なダブルス及びシングルスでの国際競争力を持ち合わせている者 1 名を、強化本部が決定し理事会に報告及び JOC に推薦する。

リザーブ選手の発表時期は JOC へのエントリー期限直前とする。

5. 補足基準

代表候補選手及びリザーブ候補選手が故障等で大会参加が不能となった場合、その代替候補選手は、強化本部が決定し理事会に報告及び JOC に推薦する。

以上